

令和 6 年 度

事業報告書



Nara Visitors Bureau

一般財団法人 奈良県ビジターズビューロー

目 次

令和6年度事業報告

世界的なDMOをめざして	1
(事業の内容)	
I 旅行商品の造成および販売	2
1 外部専門人材の活用	
2 ファムトリップ実施・海外事業者との関係構築	
3 インバウンド旅行商品販売	
4 国内旅行商品販売	
5 ネット商品販売	
6 旅行販売サイト運用業務	
II 魅力ある観光地域づくり促進事業	3
1 在庫管理システムの活用	
2 旅行商品受託販売	
(1)「うまし奈良めぐり実行委員会」事務局運営	
(2)東大寺二月堂修二会(お水取り)セミナー	
3 奈良ファン倶楽部	
4 奈良仏像カレンダー	
5 アンテナショップ	
6 地域ネットワーク構築	
III 地域連携DMO推進事業	7
1 JRキャンペーン連携	
2 奈良県観光キャンペーン連携	
3 旅行商品等販売営業活動	
4 奈良県観光情報サイト管理運営	
5 全国広域観光振興支援	
6 観光インフォメーションセンター運営支援	
7 コンサルティング・受託業務	
8 各種行事への協賛	
IV MICE 誘致・開催支援事業	9
1 コンベンション開催誘致支援事業	
2 国際コンベンション運営事業	
3 コンベンション関連団体連携	
財務諸表(収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録)	11
監査報告	21
役員名簿	22

世界的なDMOをめざして

日本の人口減少に伴い国内旅行者数が減少傾向にある中、増え続けるインバウンド旅行者を奈良県全体の観光産業の振興と地域活性化に結び付けることが、我々の課題です。

奈良県に来訪するインバウンド旅行者は、北部の奈良公園周辺に集中しており、すでにオーバーツーリズム等による問題が発生しています。一方で、奈良県南部や北部においては、まだまだ集客できていないエリアが数多くあり、奈良県全体への経済波及を推進するためには、エリアごとの戦略素材や受入環境等に合わせたプロモーションの実施と整備が必要です。

また、インバウンド旅行者の特性から、奈良県だけの集客にとらわれず、近隣県と連携し広域としてのデスティネーションブランディングの推進を図っており、令和5年度からスタートした「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業(観光庁)」では、数年にわたり総合的な施策を集中的に講じるモデル地域の1つとして紀伊半島が選定されました。当財団は、事務局として和歌山県、三重県、奈良県と連携しながら、紀伊半島としてのブランディングを進めており、紀伊半島が持つ戦略素材と親和性の高い英・仏・米・豪の高付加価値旅行者層をメインターゲットとして設定しました。既にターゲット市場の旅行会社・メディアへのセールス活動を実施しており、214件の海外雑誌等への掲載や旅行商品の造成等、認知拡大・流通経路開拓、誘客の成果が目に見えて来たところです。

今後は、地域総合商社として、誘客のみならず、輸出も視野に入れて地域の活性化に努めてまいります。

I 旅行商品の造成および販売

1 外部専門人材の活用

予算額：31,421 千円

決算額：4,129 千円

富裕層誘客の観点から、専門的知見を有する人材を活用し、高付加価値な旅行者受入体制の強化（ホテル誘致・整備）、観光 DX の推進および観光事業者間のネットワークの構築を通して、高いレベルで統一されたサービス提供体制を整備しました。

■受入環境整備：村木智裕氏（デスティネーションマーケティングの人材育成及び紀伊半島ブランド化推進事業）

2 ファムトリップ実施・海外事業者との関係構築

予算額：15,000 千円

決算額：15,200 千円

欧米豪マーケットを中心に現地旅行会社への営業活動を行うことを目的に、海外事業者との関係構築に取り組むための基盤づくりを実施しました。

3 インバウンド旅行商品販売

予算額：34,000 千円

決算額：36,389 千円

海外旅行会社及びランドオペレーター（※国内主要旅行会社含む）への営業、インバウンド向けの旅行商品造成・販売を継続し、誘客促進に繋げました。県中南和「紀伊半島」エリアの周遊型旅行を重点的に取り組みました。

・令和6年度販売目標：34,000 千円

■取扱実績：4月522人、5月501人、6月249人、7月195人、8月212人、
9月300人、10月505人、11月207人、12月86人、1月26人
2月159人、3月448人（合計）3,410人

4 国内旅行商品販売

予算額：3,000 千円

決算額：854 千円

お客様の希望通りに旅をデザインするオーダーメイド型旅行をベースに日本人向けの旅行商品を造成・販売しました。県中南和「紀伊半島」エリアの周遊型旅行を重点的に取り組みました。

・令和6年度販売目標：3,000 千円

■取扱実績：4月11人、5月30人、6月752人、7月11人、8月26人、9月46人
10月54人、11月7人、12月0人、1月7人、2月8人、3月20人
（合計）972人

5 ネット商品販売

予算額：3,000 千円

決算額：3,774 千円

旅行者が、直接かつ簡易に予約できる自社の予約販売サイトや外部 O T A を活用し、県内の社寺及び事業者が実施する奈良の特色を活かした魅力ある体験プログラムを数多く発信・販売することで、地域への活性化及び還元に繋がりました。

・令和 6 年度販売目標：3,000 千円

(1) 予約販売サイト「奈良体験.com」(「Nara Experience.com」)

■取扱実績：866 件、1,138 人

(2) 春日大社 参拝旅行企画

「春日大社 参拝旅行企画」の旅行会社への販売促進や手配・精算業務を請け負うことにより手数料を徴収しました。

■設定期間：令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月

■取扱実績：1,816 人

6 旅行販売サイト運用業務

予算額：3,800 千円

決算額：2,205 千円

オーダーメイドサイト及び予約サイトの検索順位を上昇させ、WEB サイトの認知度向上を図り、外国人観光客に対する情報環境の整備を行っています。SNS も活用し、若年層への認知度向上を図りました。

II 魅力ある観光地域づくり促進事業

1 在庫管理システムの活用

販売目標：12,400 千円

取扱実績：838 千円

県内事業者が無料で活用可能である商品在庫管理システム「T X J」および他社 O T A サイト等を活用し、県内事業者の宿泊・体験プログラム・物販をオンライン上で販売することにより、県内消費額の向上に寄与しました。

・令和 6 年度販売目標：12,400 千円

2 旅行商品受託販売

予算額：1,700 千円

決算額：2,298 千円

(1)「うまし奈良めぐり実行委員会」事務局運営

奈良県でのオフ期を中心とした宿泊滞在を促進するため「うまし奈良めぐり」観光キャンペーンを展開しています。当ビューローは「うまし奈良めぐり実行委員会」事務局を運営し、商品の企画・広報・販売・オペレーション・精算業務を行いました。

・令和6年度集客目標：9,800 名

①うまし奈良めぐり 上半期

■取扱実績：386 人

■設定期間：令和 6 年 4 月～ 9 月

■取扱旅行会社：パーソナル（個人型商品 5 社（※うち WEB 系 1 社）

エスコート（添乗員付き商品）6 社、直販（WEB・電話）

■プロモーション実績：首都圏・九州・関西・その他、過去に取扱のあった関係旅行会社へメール・電話による情報提供を実施

②うまし奈良めぐり 下半期

■取扱実績：2,323 人

■設定期間：令和 6 年 10 月～令和 7 年 3 月

■取扱旅行会社：パーソナル（個人型商品 5 社（※うち WEB 系 1 社）

エスコート（添乗員付き商品）17 社、直販（WEB・電話）

■プロモーション状況：首都圏・九州・関西・その他、過去に取扱のあった関係旅行会社へメール・電話による情報提供を実施

(2) 東大寺二月堂修二会（お水取り）セミナー

例年、奈良を代表する伝統行事の意義・歴史・行法を正しく伝えるセミナーを開催し、旅行会社及び地元宿泊施設の宿泊プラン等により販売を行うとともに、当ビューローが「東大寺二月堂修二会（お水取り）セミナー実行委員会」の事務局を運営し、商品の企画・販売・オペレーション・精算業務を行ってまいりましたが、コロナ禍の影響もあり、令和元年度から令和6年度は全て開催中止。今後は、新たな事業展開を検討していきます。

3 奈良ファン倶楽部

予算額：2,600 千円

決算額：2,532 千円

令和6年度は、奈良の歴史・文化に深堀する「解説付き特別拝観」の実施等を通じて、コアな“奈良ファン”を創出しました。併せて、積極的に情報発信（メルマガジン）を活用し配信を行い、奈良県内への誘客、ファン倶楽部活動の認知度向上に努めました。

■解説付き特別拝観 実地回数：10 回

■延べ講座参加人数：250 人 ■会員数：578 人

■メルマガ配信回数：15 回 ■メルマガ開封率：71.91%

4 奈良仏像カレンダー

予算額：6,400 千円

決算額：7,054 千円

県内の魅力溢れる仏像を、高精細な画質で紹介する「奈良仏像カレンダー」を制作し、WEB ショップ・奈良県内外の委託店舗で販売を行い、奈良県の祈りの歴史を全国へ PR しました。（平成8年度から制作・販売し、令和6年度は29 作目となる。）

■販売価格：税込 2,000 円（一般販売価格）

税込 1,500 円（奈良ファン倶楽部・賛助会員価格）

■送 料：1 ヶ所につき 700 円（一部地域は異なる）

■制作部数：4,500 部

■販売場所：全国の書店、ミュージアムショップ、郵便振替、オンラインショップ等

5 アンテナショップ

予算額：50,000 千円

決算額：67,024 千円

県が外国人向けの宿泊施設として運営する「奈良県外国人観光客交流館（奈良県猿沢イン）」において、県中南和をはじめとする県内全域の地場産品等を販売するアンテナショップ兼コンビニエンスストアを運営しています。地場産品の取り扱いを強化するとともに、今後も外国人目線での取扱商品の更なる開拓や旅行事業や MICE 事業との連携による地場産品の販売に取り組み、地産地消を推進します。

・令和6年度販売目標：50,000 千円

6 地域ネットワーク構築

予算額：180,000 千円

決算額：118,324 千円

奈良・和歌山・三重の3県が横断的に連携し、さらに各地域の様々な事業者との強固なネットワーク構築を図り、国庫補助を活用した地域の経済活性化を目指しています。

(1) 海外からのミーティング・インセンティブ旅行誘致に向けた地域連携支援事業

本県では、歴史的観光資源が多く存在し魅力ある土地であるが、M（ミーティング）・I（インセンティブ）分野のコネクションが乏しく、誘致ができないことが課題です。三重県では、インセンティブ旅行（視察旅行）の受け入れを進めており、コネクションの構築もできていますが、視察後の滞在時間を延ばし、宿泊を獲得することが課題となっています。これらの課題解決に向け、三重県と連携し、高付加価値な旅行者やインセンティブ旅行にも対応できる伊勢志摩エリアの宿泊施設利用促進および、地理的特性を活かした海での文化体験コンテンツを造成し、奈良県では、歴史的な社寺を活用した特別体験を造成しました。

(2) 観光DXによる地域経済活性化に関する先進的な観光地の創出に向けた実証事業

商品在庫管理システム「TXJ」を機能強化することで、地域の観光に関連するサービス・商品の予約、決済、顧客管理、仕入れ、そして投融資までの商流データを、集約・見える化し、「地域のポテンシャル」「事業者の地域貢献度」を活用した投融資評価スキームを開発するとともに、地域の観光事業者・DMO・地域金融機関が一体となった新たな産業共同体を構築しました。

(3) 地域観光資源の多言語解説整備支援事業

観光地（社寺以外も含む）では、訪日外国人旅行者の9割以上が解説文を読んでいるますが、既存の解説文は、訪日外国人旅行者にとって、観光地の魅力をわかりやすく伝えられていないことがあります。そのため、日本語原稿をそのまま単純に翻訳するのではなく、ネイティブのライターが英文を書きおろし、ネイティブの編集者がブラッシュアップすることでネイティブ目線から解説文を制作しました。

(4) 文化財多言語解説整備事業

県内周遊の促進を目的として文化財における多言語解説整備を実施。金峯山寺聚法殿に、4K 大画面 VR シアターを新設し、参拝するだけでは伝わりにくい魅力や、本尊である秘仏や建物に込められた想い・意味を来訪者へ伝えるコンテンツを上映できるように整備しました。

Ⅲ 地域連携DMO推進事業

1 JRキャンペーン連携

予算額：2,500 千円

決算額： 0 千円

首都圏からのより効果的な誘客促進を図るため、首都圏での PR 効果の高い JR 東海の「いざいざ奈良」キャンペーンと連動し、関連する県内主要社寺を中心に奈良の魅力ある歴史・文化等の観光資源を活用し、効果的な誘客促進を図りました。

2 奈良県観光キャンペーン連携

予算額：2,500 千円

決算額： 0 千円

奈良県との連携を強化し、県が主体として実施する「奈良県観光キャンペーン」と連携した県内主要社寺及び各地域の魅力ある観光資源の PR 等を展開するとともに、より販売効果の高い着地型旅行商品の造成に努めました。

3 旅行商品等販売営業活動

予算額：1,000 千円

決算額： 268 千円

国内外を問わず、地域活性化に向けて着地旅行商品や特産品等を販売していくために営業展開を行いました。

4 奈良県観光情報サイト管理運営

予算額：6,229 千円

決算額：6,229 千円

県公式サイト「あをによしなら旅ネット」を管理運営し、県内の社寺・市町村・交通事業者等から収集した観光情報を発信することで、観光客の利便性向上や情報収集満足度を高めるとともに、誘客促進に繋がっています。また、2021 年に導入した T X J システムと連動させ、情報発信から商品の購入に直接繋がるシステムの構築を続けております。

- ・奈良県内の旬な観光情報やおすすめプラン、モデルコース等の掲載
- ・掲載された情報から購入サイト（オンラインショップ）への誘導
- ・各事業と連携した企画の情報発信
- ・令和 6 年度目標：1,000 万 P V

■令和年 6 度 P V 数：9,761,697 ページビュー

5 全国広域観光振興支援

予算額：2,201 千円

決算額：2,201 千円

公益社団法人日本観光振興協会が実施する広域連携による観光振興（観光展の開催、観光資料の作成）、人材の育成等の事業に参画しました。

- ・ ツーリズム EXPO ジャパンへの出展参画
- ・ 観光ガイドマップ「ウェルカム関西」（英語版）への観光情報の提供
- ・ 台湾における Facebook を活用した情報発信

6 観光インフォメーションセンター運営支援

予算額：8,317 千円

決算額：8,317 千円

東大寺や夢風ひろば内において、外国人観光客等に観光案内業務を行う「奈良県観光インフォメーションセンター」を管理運営し、SNS 等を利用した情報発信の強化並びに利便性の向上を図りました。

東大寺内センターでは、今年度も株式会社 JR 東海ツアーズの旅行商品「ずらし旅」における特典「ずらし旅 選べる体験ご利用券」の受付・セット券引き換えを継続して行い、年間 711 名のご利用がありました。

夢風ひろば内センターでは、夢風ひろば内で場所を移転し、イベントスペースも構えました。来年度も引き続き、今まで以上に使い易く多くのお客様に利用して頂けるインフォメーションセンターを目指します。

■令和 6 年度来所者数（夢風ひろば内は外国人のみカウント、東大寺内は来館者数）

夢風ひろば 4 月：6,437 人、5 月：5,456 人、6 月：2,233 人、7 月：4,781 人、
8 月：6,195 人、9 月：5,238 人、10 月：6,302 人、11 月：5,779 人、
12 月：5,366 人、1 月：4,938 人、2 月：5,142 人、3 月：7,768 人

東大寺 4 月：6,055 人、5 月：5,792 人、6 月：4,004 人、7 月：3,878 人、
8 月：4,229 人、9 月：3,660 人、10 月：5,497 人、11 月：4,062 人、
12 月：2,228 人、1 月：1,849 人、2 月：1,657 人、3 月：3,446 人

7 コンサルティング・受託業務

予算額：65,000 千円

決算額：71,675 千円

地域連携 DMO としてあらゆる観光産業に関する業務の企画・運営・アドバイスを
行うコンサルティング業務と、イベント及び市町村の観光案内所（橿原市観光交流セ
ンター）等の管理運営業務を受託することにより、地域観光経済の活性化に繋げまし
た。

■橿原市観光交流センター指定管理業務（業務更新：令和 5 年度から 3 年間）

8 各種行事への協賛

予算額：1,200 千円

決算額：1,104 千円

奈良県内への誘客促進を図る関連団体及び各種行催事への協賛、実行委員会等への参画により側面支援を行いました。

IV MICE誘致・開催支援事業

1 コンベンション開催誘致支援事業

予算額：14,937 千円

決算額：11,913 千円

コンベンション開催の決定権を持つ大学及び学会のキーパーソンや開催実績のある関係機関からの情報収集を行うとともに、奈良県内での学会開催に向けてコンベンション施設・懇親会場等の現地視察の調整や各種助成金の交付、会場看板の支援等主催者のニーズに応じた開催支援プログラムの提案を行いました。

また、県 MICE 担当者と共に IBTM World2024 や IME2025 へ参加し、国内外のエージェントや学会事務局担当者に対し、学会やインセンティブツアー案件の商談を行い、早期案件の把握・誘致に努めました。

財政支援においては、令和5年度から引き続き、コンベンション主催者に対し「大規模コンベンション開催助成金（シャトルバス助成含む）」、「国内コンベンション開催助成金」、「奈良らしい MICE 開催助成金（※アフターコンベンション開催助成金）」の支援を継続するとともに2025大阪・関西万博の「テーマウィーク」に関連する国際会議・国際シンポジウムに対して「万博テーマ関連国際コンベンション開催助成金」制度を新設し、万博を契機とした奈良県内での国際会議の促進、誘致件数の向上に取り組みしました。

2 国際コンベンション運営事業

予算額：7,550 千円

決算額：6,100 千円

経済効果の高い国際会議を中心とした誘致支援活動を展開するため、国際会議主催者に対して「国際コンベンション開催助成金」の活用を促し、奈良県内での開催動機と今後のリピート率向上に繋げました。昨年度に引き続きアフターコンベンションの需要が増え、国際会議でのバンケットで人気の高い雅楽や利き酒だけでなく、奈良県内の神社・仏閣を巡るエクスカッション等の需要も増加しました。奈良らしい体験やアトラクションを楽しんでもらうために、特別体験の提案や現地での対応等、会議主催者や会議参加者の満足度向上に努めました。

3 コンベンション関連団体連携

予算額：1,470 千円

決算額：1,470 千円

アフターコンベンション等での活用にも有効である奈良県内の各種行事・関連団体等に協賛することにより、県内各地域に対してコンベンション波及効果に伴う還元を図るとともに、地域との更なる連携強化に努めました。

■令和6年度誘致支援実績

- ・上半期（4月～9月）：37件（国内22件、国際8件、スポーツ7件）
- ・下半期（10月～3月）：38件（国内22件、国際9件、スポーツ7件）

収 支 計 算 書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
(1) 国庫補助金等収入	211,420,720	121,798,580	-89,622,140
国庫補助金（観光庁等）	211,420,720	121,798,580	-89,622,140
(2) 奈良県補助金収入	116,349,600	113,325,800	-3,023,800
奈良県補助金収入（人件費）	84,679,000	84,679,000	0
奈良県補助金（人件費）	84,679,000	84,679,000	0
奈良県補助金収入（事業費）	31,670,600	28,646,800	-3,023,800
奈良県観光情報サイト管理運営	6,217,000	6,217,000	0
コンベンション開催誘致支援	14,936,600	11,912,800	-3,023,800
全国広域観光振興支援	2,200,000	2,200,000	0
観光インフォメーションセンター運営支援	8,317,000	8,317,000	0
(3) 奈良市負担金収入等	19,020,000	17,570,000	-1,450,000
国際コンベンション開催助成金	3,400,000	1,950,000	-1,450,000
運営事業補助	14,150,000	14,150,000	0
コンベンション関連団体との連携	1,470,000	1,470,000	0
(4) 商工会議所補助金収入	556,000	556,000	0
商工会議所補助金	556,000	556,000	0
(5) 会費収入	9,529,000	9,619,000	90,000
正会員会費収入	9,529,000	9,619,000	90,000
(6) 基本財産運用収入	1,937,430	1,734,721	-202,709
基本財産利息収入	1,937,430	1,734,721	-202,709
(7) 受託事業収入	66,700,000	73,973,212	7,273,212
コンサルティング・受託事業	65,000,000	71,674,950	6,674,950
旅行商品受託販売手数料	1,700,000	2,298,262	598,262
(8) 事業収入	99,600,000	118,206,733	18,606,733
インバウンド旅行商品販売収入	34,000,000	36,388,889	2,388,889
国内旅行商品販売収入	3,000,000	854,042	-2,145,958
ネット商品販売収入	3,000,000	3,774,404	774,404
アンテナショップ販売収入	50,000,000	67,023,833	17,023,833
コンベンション関連事業収入	600,000	738,529	138,529
奈良ファン倶楽部会費等収入	2,600,000	2,531,780	-68,220
奈良仏像カレンダー販売収入	6,400,000	6,895,256	495,256
(9) その他収入	200,000	721,956	521,956
その他収入（雑収入等）	200,000	721,956	521,956
事業活動収入計	525,312,750	457,506,002	-67,806,748
2. 事業活動支出			
(1) 事業費支出	423,180,320	344,120,973	79,059,347
インバウンド向け旅行商品販売	79,220,720	48,760,045	30,460,675
外部専門人材の活用	31,420,720	4,133,570	27,287,150
ファミリッパ 実施・海外事業者との関係構築	15,000,000	15,200,550	-200,550
インバウンド旅行商品販売	29,000,000	27,220,525	1,779,475
WEB運用業務	3,800,000	2,205,400	1,594,600
魅力ある観光地域づくり促進事業	241,068,000	198,189,396	42,878,604
国内旅行商品販売	1,700,000	506,667	1,193,333
ネット商品販売	2,000,000	3,031,448	-1,031,448
奈良ファン倶楽部	1,700,000	1,934,275	-234,275
奈良仏像カレンダー	5,668,000	6,513,787	-845,787
アンテナショップ	50,000,000	67,879,067	-17,879,067
地域ネットワーク構築	180,000,000	118,324,152	61,675,848
地域連携DMO推進事業	78,935,000	77,688,732	1,246,268
JRキャンペーン連携	2,500,000	0	2,500,000

収 支 計 算 書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
奈良県観光キャンペーン連携	2,500,000	0	2,500,000
旅行商品販売営業活動	1,000,000	268,421	731,579
奈良県観光情報サイト管理運営	6,217,000	6,228,850	-11,850
全国広域観光振興支援	2,201,000	2,200,550	450
観光インフォメーションセンター運営支援	8,317,000	8,467,400	-150,400
コンサルティング・受託業務	55,000,000	59,419,469	-4,419,469
各種行事等への協賛	1,200,000	1,104,042	95,958
コンベンション誘致・開催支援事業	23,956,600	19,482,800	4,473,800
コンベンション開催誘致支援	14,936,600	11,912,800	3,023,800
国際コンベンション運営	7,550,000	6,100,000	1,450,000
コンベンション関連団体連携	1,470,000	1,470,000	0
(2) 管理費	110,375,000	116,087,391	-5,712,391
人件費(奈良県補助金)	84,679,000	84,679,000	0
人件費(奈良市補助金)	10,000,000	10,000,000	0
人件費	8,696,000	11,629,220	-2,933,220
管理費	7,000,000	9,779,171	-2,779,171
事業活動支出計	533,555,320	460,208,364	73,346,956
事業活動収支差額	-8,242,570	-2,702,362	5,540,208
Ⅱ 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
(1) 借入金収入	100,000,000	0	-100,000,000
短期借入金	100,000,000	0	-100,000,000
財務活動収入計	100,000,000	0	-100,000,000
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	100,000,000	0	-100,000,000
Ⅳ 予備費支出	0		
当期収支差額	91,757,430	-2,702,362	-94,459,792
前期繰越収支差額	40,000,000	42,460,721	2,460,721
次期繰越収支差額	131,757,430	39,758,359	-91,999,071

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、下記の科目を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記 2 に記載するとおりである。

現 金
普通預金
郵便貯金
未収会費
未 収 金
前 払 金
仮 払 金
立 替 金
貯 蔵 品
未 払 金
前 受 金
前受会費
預 り 金
賞与引当金
仮 受 金

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

システムの仕様上、流動負債はマイナスでの表示となっている。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
現金預金				
現金	570,822	79,260	0	650,082
普通預金	68,649,809	0	51,416,150	17,233,659
郵便貯金	1,025,400	0	537,450	487,950
その他流動資産				
未収金	8,529,026	104,783,294	0	113,312,320
前払金	490,420	351,770	0	842,190
仮払金	5,500	0	0	5,500
立替金	3,450,383	2,186,048	0	5,636,431
貯蔵品	65,063	8,464	0	73,527
流動資産合計	82,786,423	107,408,836	51,953,600	138,241,659
未払金	-32,079,625	-56,886,665	0	-88,966,290
前受金	-198,000	0	-195,000	-3,000
前受会費	-1,431,000	0	-192,000	-1,239,000
預り金	-1,609,145	0	-560,960	-1,048,185
賞与引当金	-5,007,932	-2,218,893	0	-7,226,825
仮受金				
流動負債合計	-40,325,702	-59,105,558	-947,960	-98,483,300
合 計	42,460,721	48,303,278	51,005,640	39,758,359

貸 借 対 照 表

令和 7年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	18,371,691	70,246,031	-51,874,340
未収金	113,312,320	8,529,026	104,783,294
前払金	842,190	490,420	351,770
仮払金	5,500	5,500	0
立替金	5,636,431	3,450,383	2,186,048
貯蔵品	73,527	65,063	8,464
商品	2,945,083	1,425,398	1,519,685
流動資産合計	141,186,742	84,211,821	56,974,921
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	200,000,000	200,000,000	0
定期預金	18,500,000	18,500,000	0
基本財産合計	218,500,000	218,500,000	0
(2) 特定資産			
(3) その他固定資産			
什器備品	542,000	426,981	115,019
ソフトウェア	1,092,000	1,596,000	-504,000
保証金	4,000,000	3,700,000	300,000
その他固定資産合計	5,634,000	5,722,981	-88,981
固定資産合計	224,134,000	224,222,981	-88,981
資産の部合計	365,320,742	308,434,802	56,885,940
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	88,966,290	32,079,625	56,886,665
前受金	3,000	198,000	-195,000
前受会費	1,239,000	1,431,000	-192,000
預り金	1,048,185	1,609,145	-560,960
賞与引当金	7,226,825	5,007,932	2,218,893
流動負債合計	98,483,300	40,325,702	58,157,598
2 固定負債			
負債の部合計	98,483,300	40,325,702	58,157,598
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	218,500,000	218,500,000	0
指定正味財産合計	218,500,000	218,500,000	0
(うち基本財産への充当額)	(218,500,000)	(218,500,000)	(0)
2 一般正味財産	48,337,442	49,609,100	-1,271,658
正味財産の部合計	266,837,442	268,109,100	-1,271,658
負債及び正味財産合計	365,320,742	308,434,802	56,885,940

正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,734,721	1,937,481	-202,760
基本財産受取利息	1,734,721	1,937,481	-202,760
受取会費	11,344,000	11,564,000	-220,000
正会員受取会費	9,619,000	9,529,000	90,000
奈良ファン倶楽部会員受取会費	1,725,000	2,035,000	-310,000
事業収益	118,032,518	104,160,418	13,872,100
事業収益	1,982,595	1,821,964	160,631
奈良仏像カレンダー販売収益	6,895,256	7,507,371	-612,115
インバウンドプログラム販売収益	36,388,889	35,126,563	1,262,326
着地型旅行商品販売収益	4,342,291	6,589,483	-2,247,192
奈良F C 事業収益	806,780	769,000	37,780
コンベンション関連事業収益	738,529	164,490	574,039
各種印刷物販売収益	226,672	259,015	-32,343
アンテナショップ販売収益	66,651,506	51,922,532	14,728,974
受取補助金等	238,932,991	188,787,276	50,145,715
受取国庫補助金	125,051,191	80,330,976	44,720,215
受取地方公共団体補助金	113,325,800	107,900,300	5,425,500
受取民間補助金	556,000	556,000	0
受取負担金	18,266,705	17,252,566	1,014,139
受取負担金	18,266,705	17,252,566	1,014,139
受取寄付金	4,500	7,000	-2,500
受取寄付金	4,500	7,000	-2,500
事業受託収益	65,641,189	68,907,548	-3,266,359
事業受託収益	65,641,189	68,907,548	-3,266,359
雑収益	3,549,378	2,614,600	934,778
受取利息	6,118	172	5,946
受託販売手数料収益	2,917,287	1,914,740	1,002,547
雑収益	625,973	699,688	-73,715
経常収益計	457,506,002	395,230,889	62,275,113
(2) 経常費用			
事業費	448,998,489	372,751,330	76,247,159
旅行商品原価	1,249,109	1,839,055	-589,946
体験プログラム原価	0	17,560	-17,560
春日大社参拝旅行企画原価	2,877,400	3,263,240	-385,840
インバウンド旅行商品原価	22,443,652	22,495,951	-52,299
イベント原価	0	132,300	-132,300
仕入	50,301,396	36,535,240	13,766,156
給料手当	100,698,459	89,469,531	11,228,928
賞与引当金繰入額	7,226,825	5,007,932	2,218,893
福利厚生費	18,486,159	14,755,922	3,730,237
旅費交通費	2,082,786	3,437,833	-1,355,047
通信運搬費	2,715,102	2,910,600	-195,498
減価償却費	1,790,621	1,198,563	592,058
消耗品費	1,932,837	1,010,522	922,315
修繕費	839,300	2,738,648	-1,899,348
印刷製本費	516,225	683,780	-167,555
新聞図書費	31,250	17,645	13,605
広告宣伝費	1,149,430	995,179	154,251
誘致宣伝費	0	116,000	-116,000
燃料費	232,945	205,921	27,024
光熱水料費	9,180,134	8,437,463	742,671
賃借料	9,779,692	13,071,824	-3,292,132
保険料	593,023	636,053	-43,030
諸謝金	809,718	440,548	369,170
租税公課	322,960	209,450	113,510
支払負担金	3,552,000	3,726,000	-174,000
支払補助金	910,000	790,000	120,000
支払助成金	8,777,000	6,879,060	1,897,940
支払寄付金	712,500	175,000	537,500

正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
委託費	191,028,811	144,016,717	47,012,094
研修費	0	20,000	-20,000
支払手数料	5,051,892	5,398,055	-346,163
カード手数料	41,022	87,023	-46,001
カレンダー販売手数料	996,580	1,065,180	-68,600
雑費	2,589,624	788,061	1,801,563
その他事業費	80,037	79,336	701
営業活動費	0	100,138	-100,138
管理費	9,708,171	7,823,731	1,884,440
福利厚生費	138,458	100,526	37,932
会議費	192,788	230,950	-38,162
旅費交通費	35,360	90,490	-55,130
通信運搬費	428,220	462,321	-34,101
消耗品費	120,438	142,825	-22,387
修繕費	77,361	8,250	69,111
印刷製本費	139,519	122,276	17,243
新聞図書費	24,840	68,645	-43,805
燃料費	97,124	64,992	32,132
光熱水料費	248,424	223,508	24,916
賃借料	2,925,354	2,401,884	523,470
諸謝金	600,000	721,000	-121,000
租税公課	2,464,300	1,616,160	848,140
支払負担金	390,000	318,824	71,176
委託費	1,603,360	891,735	711,625
支払手数料	200,525	201,625	-1,100
雑費	22,100	157,720	-135,620
経常費用計	458,706,660	380,575,061	78,131,599
評価損益等調整前当期経常増減額	-1,200,658	14,655,828	-15,856,486
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-1,200,658	14,655,828	-15,856,486
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	9,173,000	-9,173,000
投資有価証券売却益	0	9,173,000	-9,173,000
雑収益	0	1,500,000	-1,500,000
雑収益	0	1,500,000	-1,500,000
経常外収益計	0	10,673,000	-10,673,000
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	10,673,000	-10,673,000
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-1,200,658	25,328,828	-26,529,486
税引前当期一般正味財産増減額	-1,200,658	25,328,828	-26,529,486
法人税、住民税及び事業税	71,000	71,000	0
当期一般正味財産増減額	-1,271,658	25,257,828	-26,529,486
一般正味財産期首残高	49,609,100	24,351,272	25,257,828
一般正味財産期末残高	48,337,442	49,609,100	-1,271,658
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	218,500,000	218,500,000	0
指定正味財産期末残高	218,500,000	218,500,000	0
III 正味財産期末残高	266,837,442	268,109,100	-1,271,658

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

購入時の取得価格。ただし、取得価額と債券金額の差額について、重要性が乏しいものについては、取得価額を貸借対照表表示価額としている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品は最終仕入原価法による原価法によっている。

商品は売価還元法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産（リース資産を除く）

定率法によっている。

②無形固定資産

定額法によっている。なお、補助金により取得した固定資産については、「固定資産圧縮勘定」を設けて圧縮記帳処理を行っている。

(4) 引当金の計上基準

①賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち、当期に属する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券				
東京電力パワーグリッド(株)第41回社債	100,000,000	0	0	100,000,000
奈良県令和5年度第3回公募公債(20年)	100,000,000	0	0	100,000,000
小 計	200,000,000	0	0	200,000,000
定期預金	18,500,000	0	0	18,500,000
小 計	18,500,000	0	0	18,500,000
合 計	218,500,000	0	0	218,500,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定 正味財産から の充当額)	(うち一般 正味財産から の充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券				
東京電力パワーグリッド(株)第41回社債	100,000,000	(100,000,000)	(0)	(0)
奈良県令和5年度第3回公募公債(20年)	100,000,000	(100,000,000)	(0)	(0)
小 計	200,000,000	(200,000,000)	(0)	(0)
定期預金	18,500,000	(18,500,000)	(0)	(0)
小 計	18,500,000	(18,500,000)	(0)	(0)

科 目	当期末残高	(うち指定 正味財産から の充当額)	(うち一般 正味財産から の充当額)	(うち負債に 対応する額)
合 計	218,500,000	(218,500,000)	(0)	(0)

4. 担保に供している資産
担保物件なし

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。
(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
車両運搬具	1,007,840	1,007,840	0
什器備品	1,970,300	1,428,300	542,000
ソフトウェア	2,520,000	1,428,000	1,092,000
合 計	5,498,140	3,864,140	1,634,000

6. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務
保証債務なし

7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。
(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
東京電力パワーグリッド(株)第41回社債	100,000,000	99,210,000	-790,000
奈良県令和5年度第3回公募公債(20年)	100,000,000	86,870,000	-13,130,000
合 計	200,000,000	186,080,000	-13,920,000

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
観光振興事業費補助金	観光庁	0	4,129,040	4,129,040	0	—
観光DX 地域経済活性化に関する事業補助金	観光庁	0	75,394,151	75,394,151	0	—
ミーティング・インセンティブ 旅行誘致事業補助金	観光庁	0	16,412,000	16,412,000	0	—
文化資源活用事業費補助金	文化庁	0	29,116,000	29,116,000	0	—
人件費補助金	奈良県	0	84,679,000	84,679,000	0	—
事業費補助金	奈良県					
奈良県観光情報サイト管理運営事業		0	6,217,000	6,217,000	0	—
コンベンション開催誘致支援事業		0	14,936,600	11,912,800	3,023,800	流動負債

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
全国広域観光振興支援事業		0	2,200,000	2,200,000	0	—
奈良県観光インフォメーションセンター運営事業		0	8,317,000	8,317,000	0	—
奈良県商工会議所補助金(奈良商工会議所)	—	0	556,000	556,000	0	—
合 計		0	241,956,791	238,932,991	3,023,800	

9. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

属性	法人等の名称	住所	資産総額	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
						役員の兼務等	事業上の関係				
支配法人	奈良県	奈良市内	0	地方公共団体	—	—	補助受取	受取補助金	113,325,800	—	0

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載していることから、附属明細書への記載を省略している。

2. 引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	5,007,932	7,226,825	5,007,932		7,226,825

財 産 目 録

令和 7年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金預金			18,371,691
	未収金			113,312,320
	前払金			842,190
	仮払金			5,500
	立替金			5,636,431
	貯蔵品			73,527
	商品			2,945,083
流動資産合計				141,186,742
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券		運用益を事業に充当	200,000,000
	定期預金			18,500,000
特定資産				
その他固定資産	什器備品	アンテナショップ等	防犯カメラ等	542,000
	ソフトウェア	事務所内	TXJシステム一式	1,092,000
	保証金			4,000,000
固定資産合計				224,134,000
資産合計				365,320,742
(流動負債)				
	未払金			88,966,290
	前受金			3,000
	前受会費			1,239,000
	預り金			1,048,185
	賞与引当金		職員の賞与給付の引当金	7,226,825
流動負債合計				98,483,300
(固定負債)				
固定負債合計				0
負債合計				98,483,300
正味財産				266,837,442

監 査 報 告 書

令和 6 年度一般財団法人奈良県ビジターズビューローの監査をした結果について、下記のとおり報告します。

記

1. 監査方針及び実施方法

令和 5 年度監査に係る令和 6 年 5 月 22 日付け監査報告書における指摘状況を踏まえ、令和 6 年度の監査に当たっては、監事監査補助員を選任するなど、令和 5 年度監査に準じる体制で監査を実施すべきであることを監事の協議により決定しました。

この方針に従い、令和 7 年 5 月 8 日、2 名の監事及び 4 名の監事監査補助員が、当法人において令和 6 年度に係る事業報告書及び計算関係書類をはじめ重要な決裁書類・会計書類等を閲覧するとともに、事務局から状況を聴取しました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 計算関係書類は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

令和 7 年 5 月 14 日

監 事

松 山 善 之 

監 事

津 越 健 次 郎 

奈良県ビクターズビューロー役員名簿

令和7年5月14日現在

役職	氏 名	組織名	役職名
理事長	山下 真	奈良県	奈良県知事
副理事長	仲川 げん	奈良市	奈良市長
副理事長	小山 新造	奈良商工会議所	会頭
専務理事	中西 康博	奈良県ビクターズビューロー	専務理事
理事	上司 永照	東大寺	執事長
理事	今井 裕次	春日大社	禰宜
理事	川俣 海淳	長谷寺	住職
理事	五條 永教	金峯山寺	執行長
理事	乾 昌弘	株式会社明新社	代表取締役社長
理事	朝廣 佳子	株式会社読売奈良ライフ	代表取締役社長
理事	佐野 純子	奈良インターカルチャー	代表
理事	川端 規央	大和まちづくりネットワーク	代表
理事	古賀 裕介	西日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部 鉄道マーケティング部 近畿営業部	観光推進室長
理事	佃 侑彦郎	近畿日本鉄道株式会社 創造本部	観光開発・地域共創部長
理事	田中 耕造	奈良交通株式会社	代表取締役社長
理事	池田 朋史	東海旅客鉄道株式会社 広報部	東京広報室長
理事	増田 友宏	奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合	理事長
理事	下谷 幸司	奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合	奈良支部長/副理事長
理事	増田 将也	奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合	吉野山支部長/副理事長
理事	天野 三恵子	株式会社ＪＴＢ 奈良支店	支店長
理事	沖田 敏孝	近畿日本ツーリスト株式会社 奈良支店	支店長
理事	亀田 忠彦	橿原市	橿原市長
理事	中井 章太	吉野町	吉野町長
監事	津越 健次郎	株式会社南都銀行	公務・地域共創部長
監事	松山 善之	奈良県	会計管理者

奈良県ビクターズビューロー評議員名簿

令和7年5月14日現在

役職	氏 名	組織名	役職名
評議員	植田 俊應	奈良大和四寺巡礼の会	代表代行
評議員	常盤 勝範	壺阪寺	住職
評議員	道上 昌幸	石上神宮	宮司
評議員	田中 篤則	株式会社奈良新聞	代表取締役社長
評議員	山下 徳子	NHK奈良放送局	局長
評議員	長岡 雅美	奈良テレビ放送株式会社	代表取締役社長
評議員	米澤 弘朗	一般社団法人 奈良青年会議所	理事長
評議員	栗原 圭一	奈良県農業協同組合	代表理事理事長
評議員	山中 淳史	奈良県	観光局長
評議員	栗山 稔	奈良市	観光経済部長
評議員	戸田 高志	橿原市	魅力創造部長
評議員	永井 聡	吉野町	副町長